

2022年度第2四半期決算の概要及び 2022年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2022年11月8日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2022年度第2四半期決算の概要	
1) 主要関連指標動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の増減（増減分析 対前年決算）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	…6-9
6) セグメント別 コア営業利益の増減（対前回予想 上期）	…10
7) 非経常項目の内訳	…11
8) 財政状態計算書	…12
9) キャッシュ・フロー計算書	…13
2. 2022年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…14-15
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想（増減分析 対前年決算）	…16
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化（対前年決算）	…17-20
4) セグメント別 コア営業利益の予想（上期→下期増減）	…21
5) 非経常項目の予想	…22
6) キャッシュ・フロー計算書の予想	…23
7) 株主還元	…24
3. 補助資料	…25-31

1. 2022年度第2四半期決算の概要

1) 主要関連指標動向

関連指標		22年度			
		2Q	1Q→2Q	下期	上期→下期
自動車生産台数(世界)					
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな部材不足の影響は残るものの、欧州・ASEANを除き各地域とも1Qからは回復 		<ul style="list-style-type: none"> ・上期から下期にかけて各地域ともに回復を見込む ただし、景気減速による影響懸念 		
北米					
中国					
ASEAN					
欧州					
半導体市場		需要減		需要減継続	
市況	フェノール	<ul style="list-style-type: none"> ・ビスフェノールAの海外市況は、中国ロックダウン等の影響により需給環境が軟化し下落 ・アセトンの市況は低水準 ・TDIの市況は下落 		<ul style="list-style-type: none"> ・ビスフェノールAの海外市況は、引続き需給環境軟化継続 ・需給軟化継続 	
	ビスフェノールA				
	アセトン				
	TDI				
	MDI				
クワッカー稼働率		低稼働		上期より改善	

2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY21	FY22	FY23以降
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	整形外科領域 日本エム・ディ・エム資本・業務提携	22年1月	-			
	農業事業買収	22年1月	-			
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年10月	-			
モビリティソリューション	ガラス長繊維強化PP新設@China	21年4月	3.5KT			
	タフマー能力増強@Singapore	21年4月	25KT			
	ルーカント新拠点@Japan	21年4月	20KT			
	タフマー新設@Singapore	24年度	120KT			
ICTソリューション	EUVベリクル新設備@Japan	21年4月	-			
	アベル [®] 新プラント@Japan	22年6月	+50%			
	ベリクル事業買収	23年7月	-			
	イクロステーブ [®] 能力増強@Taiwan	23年10月	380万㎡			
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	本州化学工業 連結子会社化	21年10月以降	-			
	ポリウレタン事業 合併解消	21年12月	-			
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年1月	200KT			
	高機能PP新設備@Japan	24年11月	200KT			
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月				
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-			
最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT			生産停止
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月				株式譲渡

22年度上期 商業運転開始プラント等

22年度上期 意思決定案件等

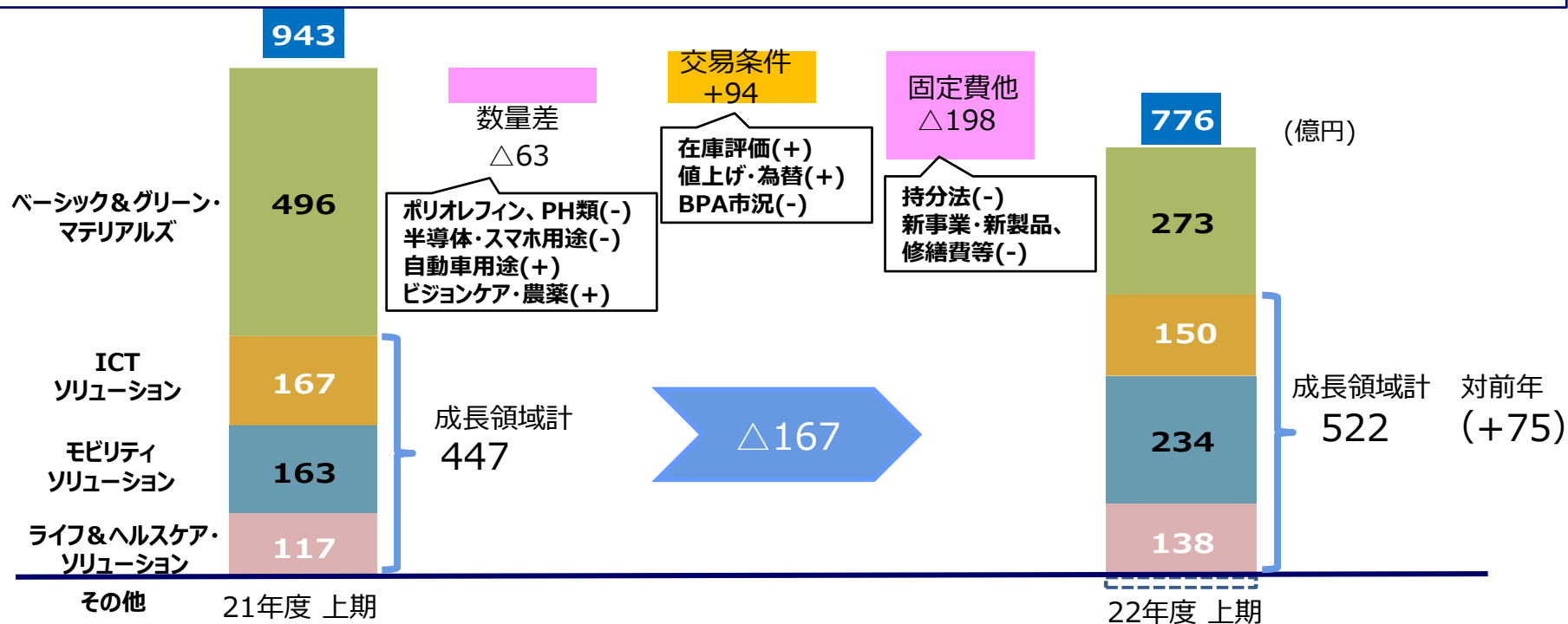
3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-9月決算	22年度 4-9月決算	増減	増減率
売上収益	7,435	9,511	2,076	28%
コア営業利益	943	776	△ 167	△18%
(うち、持分法による投資損益)	163	142	△ 21	△13%
非経常項目	23	△ 51	△ 74	-
営業利益	966	725	△ 241	△25%
金融収益・費用	△ 22	△ 18	4	-
税引前四半期利益	944	707	△ 237	△25%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	760	444	△ 316	△42%
為替レート(円/US\$)	110	134	+ 24	
国産ナフサ(円/KL)	50,600	83,750	+ 33,150	
中間配当	55円/株	60円/株	+5円/株	-

3-2) 決算の概要 (コア営業利益)

- ①ポリオレフィン及びフェノール類は需要減により販売数量は減少。
- ②半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により、半導体関連の販売数量は減少。
- ③グローバルな部材不足の影響は残るものの、自動車用途関連は回復。
- ④ビジョンケア、農薬は引続き販売堅調。
- ⑤原料価格上昇に伴う在庫評価益。
- ⑥原料価格上昇に伴う価格改定及び円安影響により交易条件改善。
- ⑦ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が軟化し下落。







4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の増減 (対前年決算)

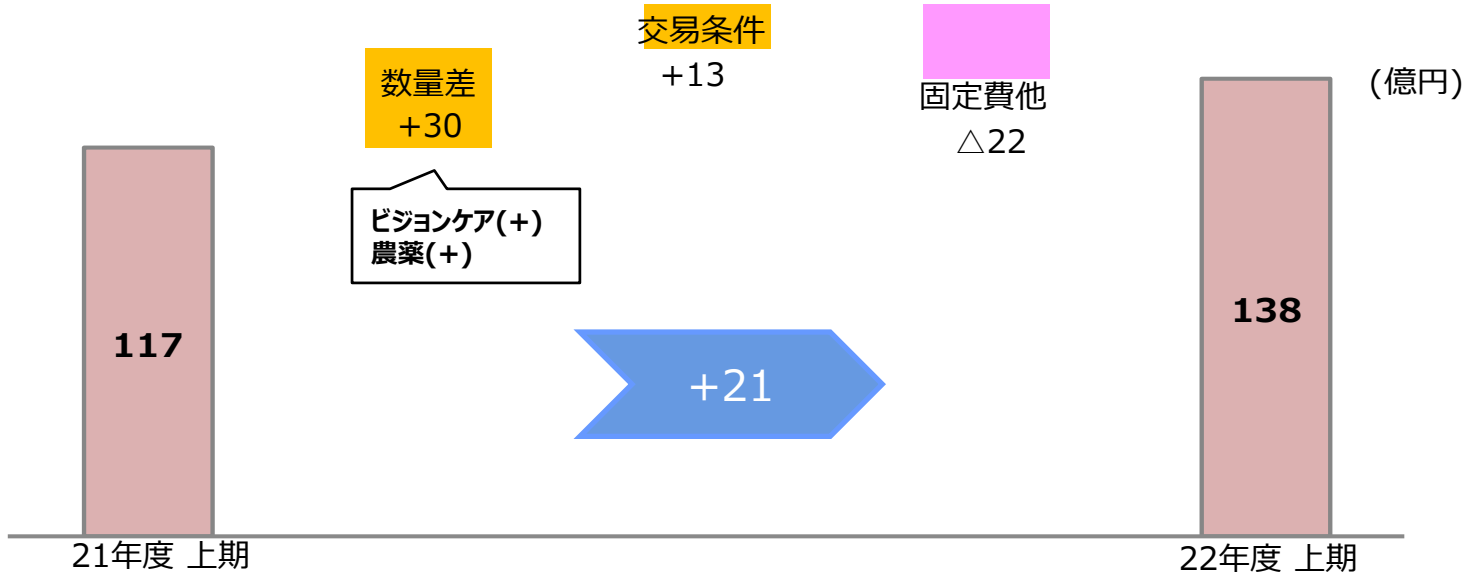
(単位: 億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	21年度 4-9月決算	22年度 4-9月決算	増減	21年度 4-9月決算	22年度 4-9月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	1,028	1,221	193	117	138	21	30	13	△ 22
モビリティソリューション	1,994	2,554	560	163	234	71	△ 6	116	△ 39
ICTソリューション	1,017	1,182	165	167	150	△ 17	△ 27	37	△ 27
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	3,345	4,483	1,138	496	273	△ 223	△ 60	△ 72	△ 91
その他	51	71	20	0	△ 19	△ 19	-	-	△ 19
合計	7,435	9,511	2,076	943	776	△ 167	△ 63	94	△ 198
成長領域*	4,039	4,957	918	447	522	75			

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

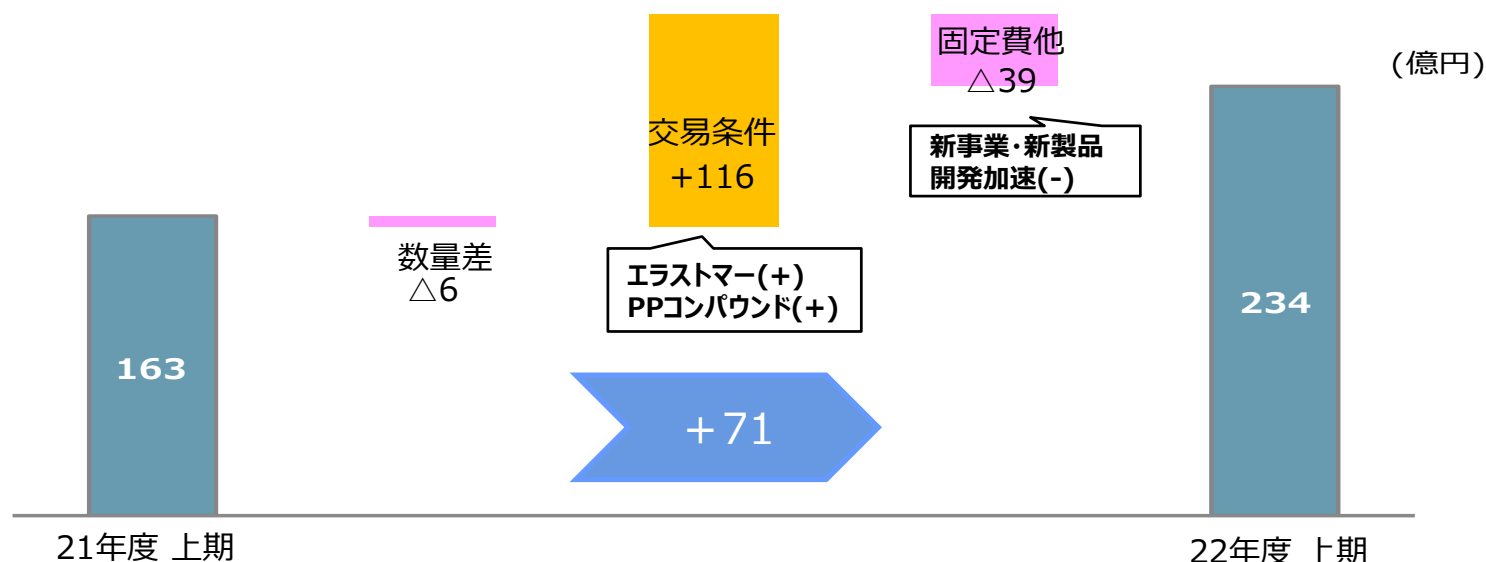
5-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向

	22年度上期決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・値上げするも原料価格上昇に伴う交易悪化 	数量(+) 交易条件(-)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> ・価格改定に伴う交易改善 	数量(-) 交易条件(+)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は前年並みに推移 ・固定費増 	固定費(-)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・為替差による交易改善 ・販売増加等に伴う固定費増 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)

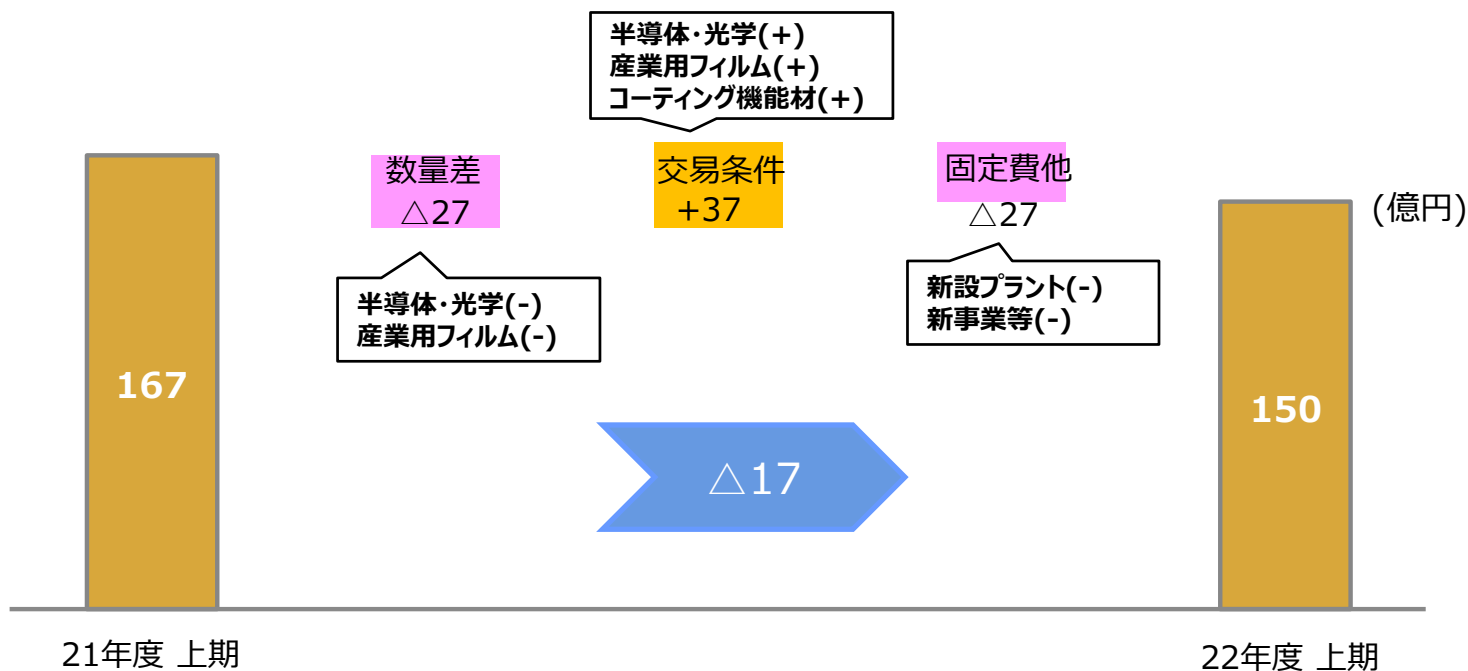


5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向

	22年度上期決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 太陽電池封止材の販売は堅調に推移するも、一部自動車関連製品の回復遅れにより販売は減少 価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易改善 	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途関連は回復 価格改定及び為替差による交易改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 販売は受注減継続により前年並み 	-

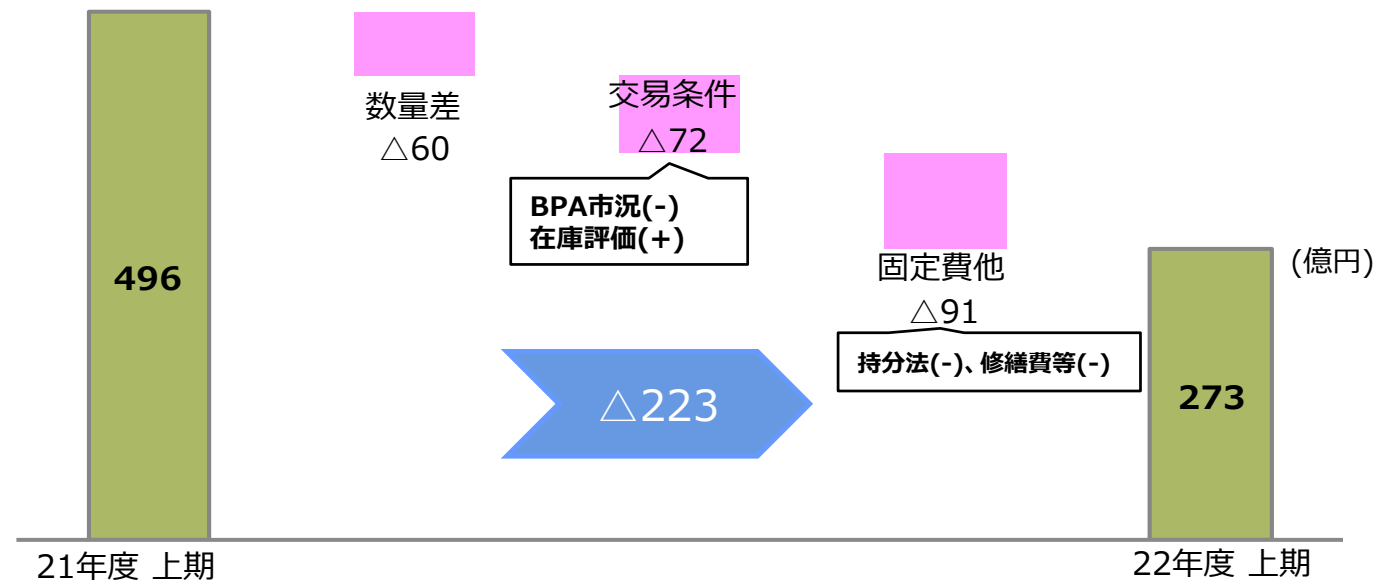


	22年度上期決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> ・EUVペリクルの販売は堅調に推移するも、半導体及びスマートフォン市場需要鈍化の影響を受け販売は減少 ・為替差により交易条件改善 ・新設プラント稼働による固定費増(アペル®) 	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体需要鈍化により販売は減少 ・為替差により交易条件改善 	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)



5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向変化

	22年度上期決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減により販売減少 ・原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ) 	数量(-) 在庫(+) 固定費(-)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減により販売減少 ・ビスフェノールAを中心に海外市況は、需給環境が軟化し下落 	数量(-) 交易条件(-) 固定費(-) 持分法(-)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減により販売減少 	数量(-) 持分法(+)



6) セグメント別 コア営業利益の増減 (対前回予想 上期)

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益			主要増減要因
	4-9月 前回予想 (22.8.5発表)	4-9月 決算	増減	
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	125	138	13	原料価格下落に伴う交易改善(+) 為替益(+)
モビリティ ソリューション	205	234	29	自動車用途回復遅れ(-) 原料価格下落に伴う交易改善(+) 為替益(+)、固定費(+)
ICT ソリューション	170	150	△ 20	半導体・スマホ用途減販(-) 為替益(+)
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	330	273	△ 57	減販(-) 在庫評価益縮小(-) 原料価格下落に伴う交易改善(+)
その他	△ 5	△ 19	△ 14	
合計	825	776	△ 49	

成長領域*	500	522	22
-------	-----	-----	----

為替レート(円/US\$) 130 134 + 4

国産ナフサ(円/KL) 86,000 83,750 △ 2,250

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

7) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-9月決算	22年度 4-9月決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 4	△ 15	△ 11
減 損 損 失	△ 1	△ 38	△ 37
そ の 他	28	2	△ 26
非経常項目 合計	23	△ 51	△ 74

8) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	22年3月末	22年9月末	増減	摘 要	22年3月末	22年9月末	増減
流動資産	(10,335)	(11,314)	(979)	負債	(11,279)	(12,067)	(788)
現金及び 現金同等物	1,812	2,083	271	営業債務	1,748	1,889	141
営業債権	3,704	3,700	△ 4	有利子負債	7,151	7,732	581
棚卸資産	3,690	4,513	823	その他	2,380	2,446	66
その他	1,129	1,018	△ 111	資本	(8,071)	(8,735)	(664)
非流動資産	(9,015)	(9,488)	(473)	親会社の所有者に 帰属する持分	7,127	7,763	636
有形固定資産及び 使用権資産	5,536	5,851	315	非支配持分	944	972	28
のれん及び 無形資産	633	637	4				
非流動の その他の資産	2,846	3,000	154				
合 計	19,350	20,802	1,452	合 計	19,350	20,802	1,452

9) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-9月決算	22年度 4-9月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	626	219	△ 407
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 395	△ 140	255
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	231	79	△ 152
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 234	55	289
IV. その他	11	137	126
現預金等増減	8	271	263

2. 2022年度業績予想の概要

22年度よりセグメントを変更しております。
新セグメントに基づく21年度以前の決算値は、22年度業績予想との比較を目的に作成した概算値(除く21年度1-2Q)です。

1 - 1) 業績予想の概要

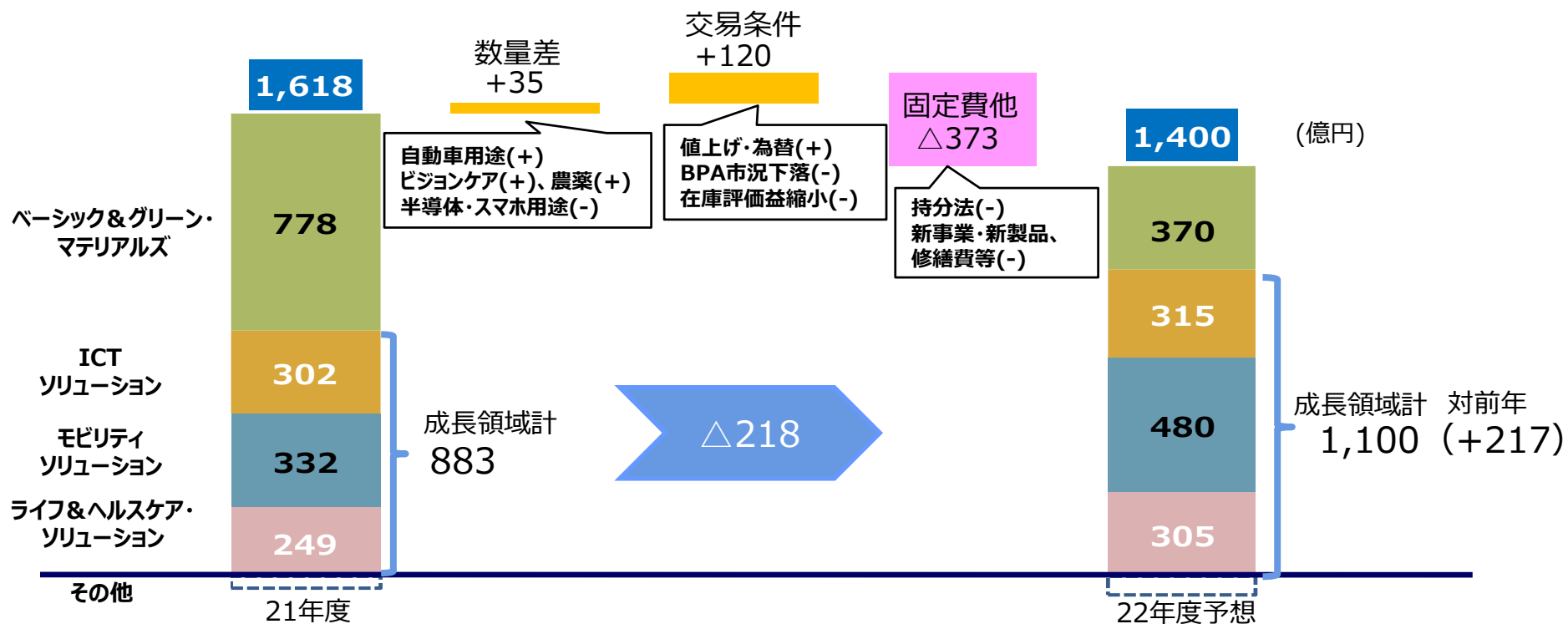
(単位：億円)

摘要	21年度決算		22年度予想		増減 (b)-(a)		22年度予想 (22.8.5発表)	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	年度	%	4-9月	年度
売上収益	7,435	16,127	9,511	20,000	3,873	24%	10,200	21,600
コア営業利益	943	1,618	776	1,400	△ 218	△13%	825	1,400
非経常項目	23	△ 145	△ 51	160	305	-	△ 20	△ 20
営業利益	966	1,473	725	1,560	87	6%	805	1,380
金融収益・費用	△ 22	△ 60	△ 18	△ 20	40	-	△ 30	△ 50
税引前利益	944	1,413	707	1,540	127	9%	775	1,330
親会社の所有者に 帰属する当期利益	760	1,100	444	1,050	△ 50	△5%	570	1,000
為替レート(円/US\$)	110	112	134	137	+ 25		130	130
国産ナフサ(円/KL)	50,600	56,600	83,750	78,900	+ 22,300		86,000	86,000
配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	55 円/株	65 円/株*	60 円/株	60 円/株	+5円/株	△5円/株	60 円/株	60 円/株
	通期 120 円/株*		通期 120 円/株		通期 +0円/株		通期 120 円/株	

*特別配当5円/株含む

1-2) 業績予想の概要 (コア営業利益)

- ①自動車用途関連は生産台数の回復を見込む。
- ②ビジョンケア、農薬は引続き販売堅調を見込む。
- ③半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により、半導体関連の販売数量は減少。
- ④価格改定及び円安により交易条件改善。
- ⑤ビスフェノールAの海外市況下落。
- ⑥資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。



2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (増減分析 対前年決算)

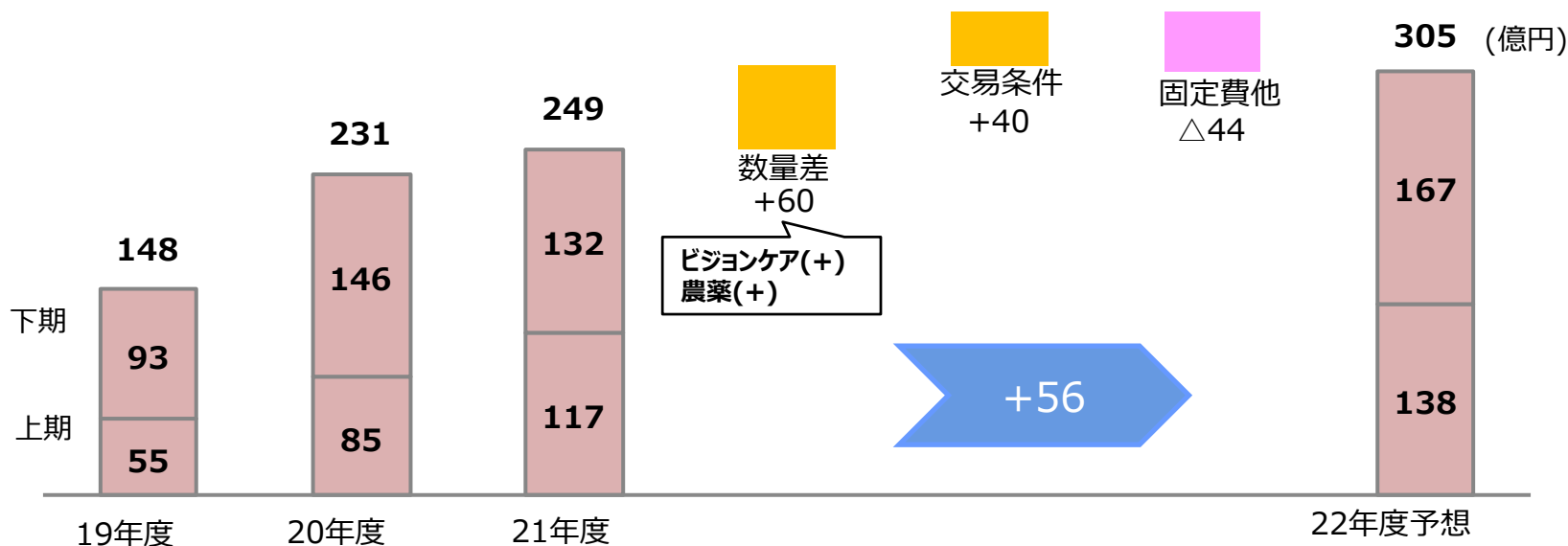
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	21年度決算	22年度予想	増減	21年度決算	22年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	2,252	2,600	348	249	305	56	60	40	△ 44
モビリティソリューション	4,327	5,500	1,173	332	480	148	60	200	△ 112
ICTソリューション	2,071	2,400	329	302	315	13	△ 15	80	△ 52
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	7,371	9,370	1,999	778	370	△ 408	△ 70	△ 200	△ 138
その他	106	130	24	△ 43	△ 70	△ 27	-	-	△ 27
合計	16,127	20,000	3,873	1,618	1,400	△ 218	35	120	△ 373
成長領域*	8,650	10,500	1,850	883	1,100	217			

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

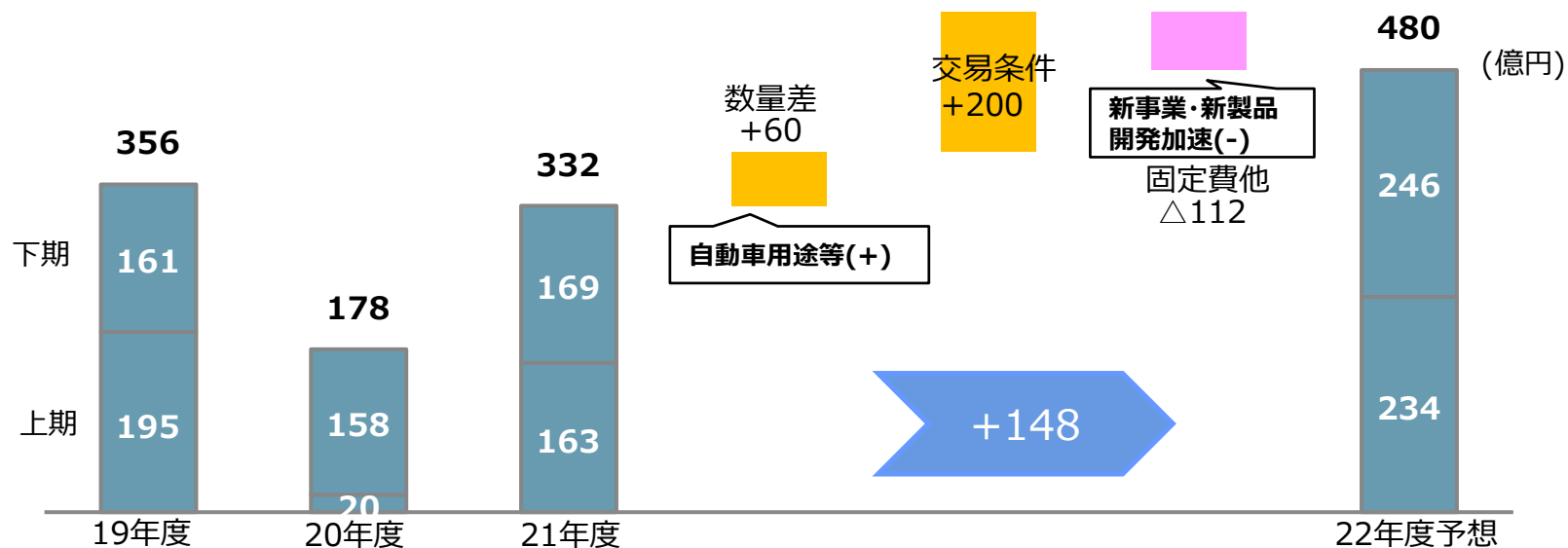
3-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・値上げするも原料価格上昇に伴う交易悪化 	数量(+) 交易条件(-)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> ・価格改定に伴う交易改善 	数量(-) 交易条件(+)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・固定費増 	数量(+) 固定費(-)
農薬	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・為替による交易改善 ・販売増加に伴う固定費増 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)



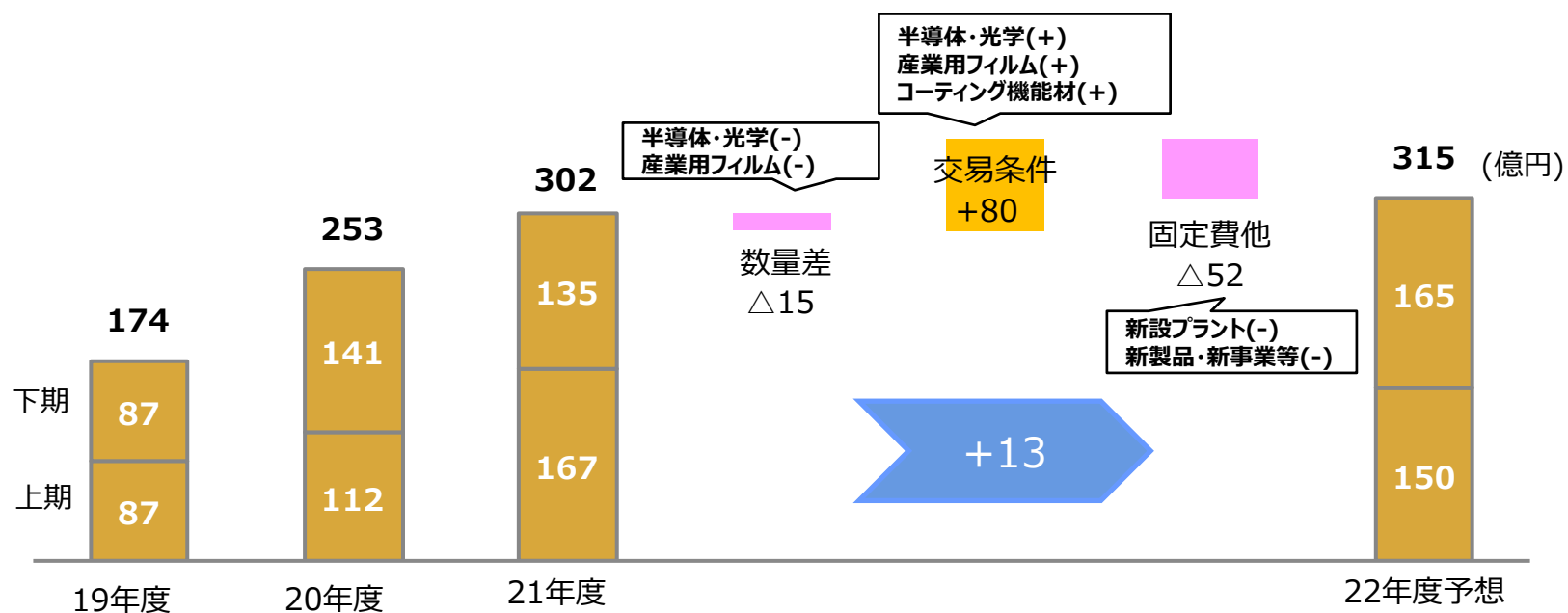
3-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復、太陽電池封止材等の需要堅調に伴う販売増 価格改定及び為替差による交易改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復に伴う販売増 価格改定及び為替差による交易改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 販売は前年から回復を見込む 	数量(+) 固定費(-)



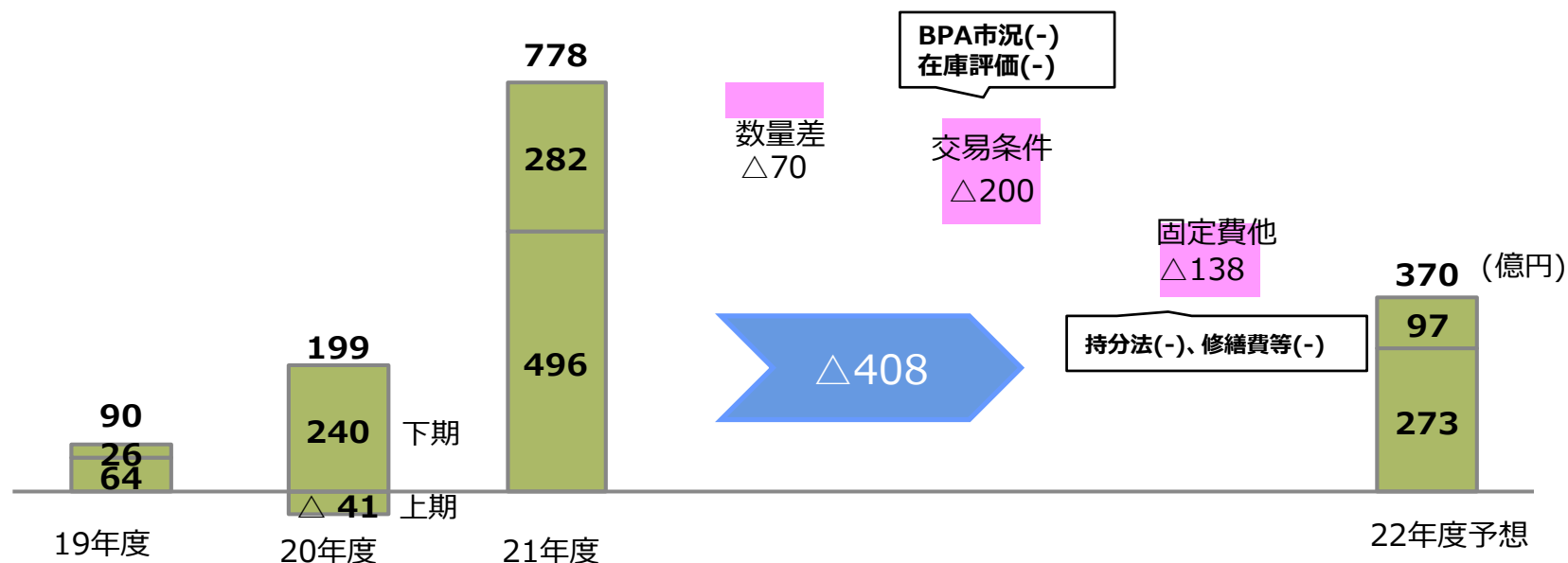
3-3) ICTソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> ・EUVペリクルの販売は堅調に推移するも、半導体及びスマートフォン市場需要鈍化の影響を受け販売は減少 ・為替差により交易条件改善 ・新設プラント稼働による固定費増(アペル®) 	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体市場需要鈍化により販売減少 ・為替差により交易条件改善 	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)



3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減少に伴う販売数量減少 ・22年度下期原料価格下落に伴う在庫評価損(含むフォーミュラ期ずれ) 	数量(-) 在庫(-) 固定費(-)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減少に伴う販売数量減少 ・ビスフェノールAの海外市況は、需給軟化により下落 ・持分法投資損益の悪化 	数量(-) 交易条件(-) 持分法(-) 固定費(-)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法投資損益の増加 	数量(-) 持分法(+)



4) セグメント別 コア営業利益の予想 (上期→下期増減)

(単位：億円)

セグメント	22年度 コア営業利益			主要増減要因
	上期	下期予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	138	167	29	農薬数量(+)、交易(+)、固定費(-)
モビリティソリューション	234	246	12	自動車用途数量(+)、固定費(-)
ICTソリューション	150	165	15	半導体・光学数量(+)、固定費(-)
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	273	97	△ 176	在庫(-)、交易(-)、持分法(-)
その他	△ 19	△ 51	△ 32	
合計	776	624	△ 152	
成長領域*	522	578	56	

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

5) 非経常項目の予想

(単位：億円)

摘 要	21年度決算	22年度予想	増減
固定資産処分・売却損益	△ 14	△ 20	△ 6
減 損 損 失	△ 162	△ 45	117
そ の 他	31	225	194
非経常項目 合計	△ 145	160	305

6) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘要	21年度決算	22年度予想	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	926	810	△ 116
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 2,052	△ 690	1,362
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 1,126	120	1,246
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	892	△ 90	△ 982
IV. その他	86	140	54
現預金等増減	△ 148	170	318

7) 株主還元

● 22年度配当予想

中間
期末
年間

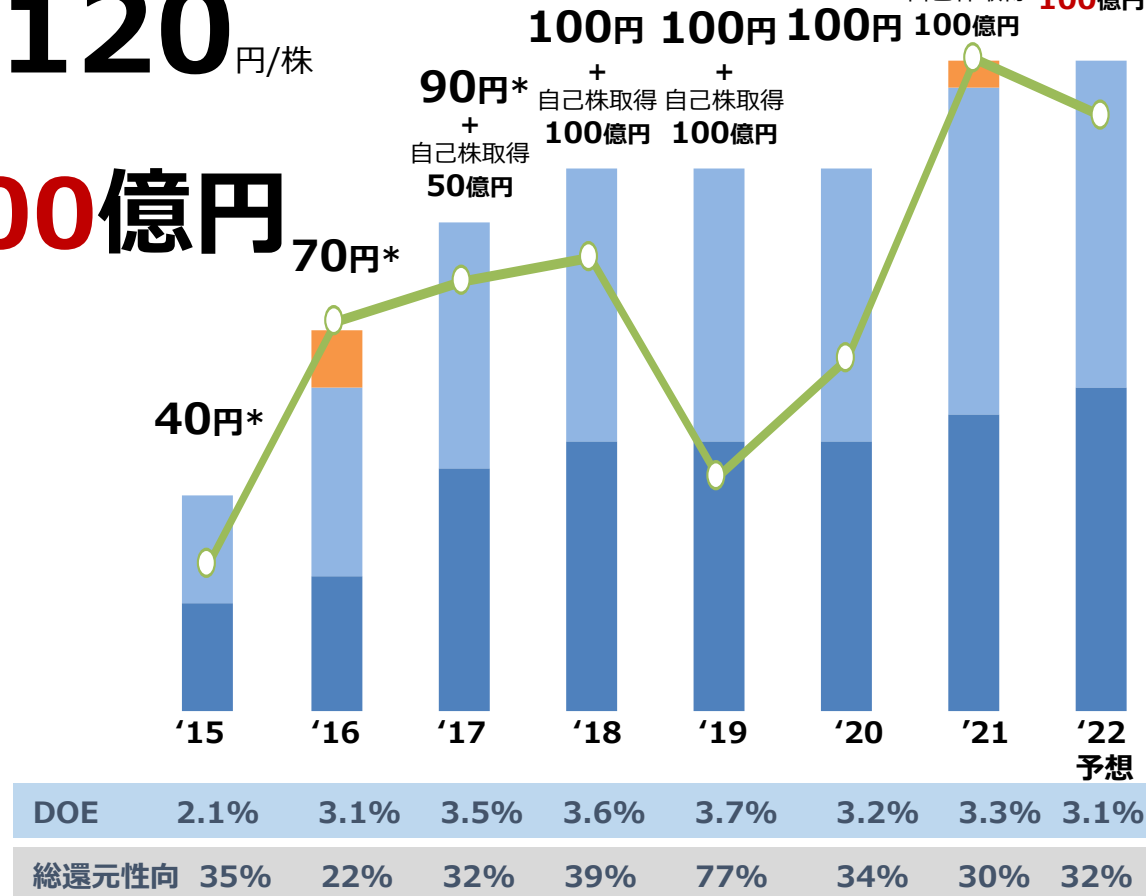
$$60_{\text{円/株}} + 60_{\text{円/株}} = 120_{\text{円/株}}$$

■ 中間配当
■ 期末配当
■ 特別配当
— 当期純利益

特別配当
 5円
 +
 115円
 + 自己株取得
 100億円
 + 自己株取得
 120円

● 自己株式取得 100億円

- ✓ DOE 3.0%以上を目指す
- ✓ 安定的かつ継続的な配当
- ✓ 機動的かつ柔軟な自己株式取得
- ✓ 総還元性向 30%以上



*株式併合後の株式数を基に修正

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) セグメント情報
- 5) データハイライト

1) 製品価格の状況

(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

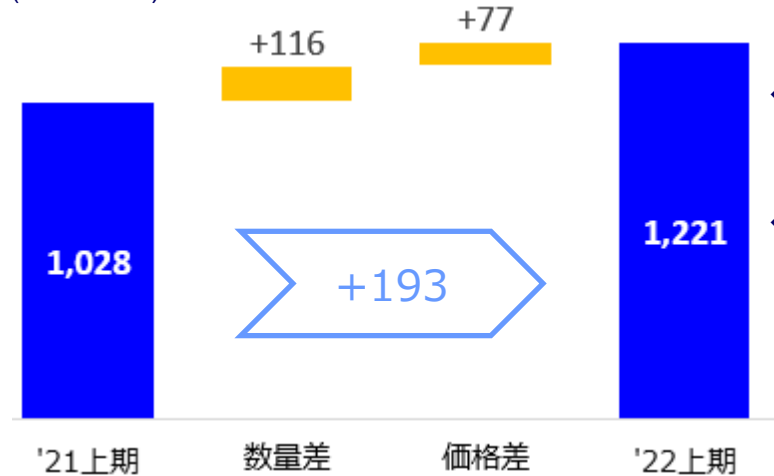
年		2019年	2020年				2021年				2022年		
月		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
国産標準 ナフサ価格	(円/KL)	41,300	44,800	24,900	30,200	31,300	38,800	47,700	53,500	60,700	64,600	86,100	81,400
P E国内	(円/KG)	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度
P P国内	(円/KG)	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度
P H国内 (アクリル価格)	(円/KG)	+10円	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (* A C P)	(\$/T)	\$680	\$700	\$360	\$440	\$490	\$720	\$930	\$1,030	\$970	\$1,030	\$1,230	\$1,120
B P A国内	(円/KG)	→	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)	→	→	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$1,210	\$1,310	\$1,210	\$1,290	\$1,990	\$2,630	\$3,230	\$3,320	\$2,480	\$2,340	\$2,060	\$1,580
P T A 中国市況	(\$/T)	\$620	\$560	\$420	\$440	\$450	\$600	\$660	\$710	\$700	\$830	\$950	\$840
P X (* A C P)	(\$/T)	\$800	\$710	\$500	\$550	\$560	\$770	\$860	\$920	\$890	\$1,090	\$1,260	\$1,090
T D I 中国市況	(\$/T)	\$1,500	\$1,430	\$1,330	\$1,580	\$2,330	\$2,150	\$2,040	\$1,900	\$2,200	\$2,610	\$2,770	\$2,320

* ACP アジア圏契約価格

2-1) 売上収益の増減概要

ライフ&ヘルスケア

(単位: 億円)



◆数量差 +116億円

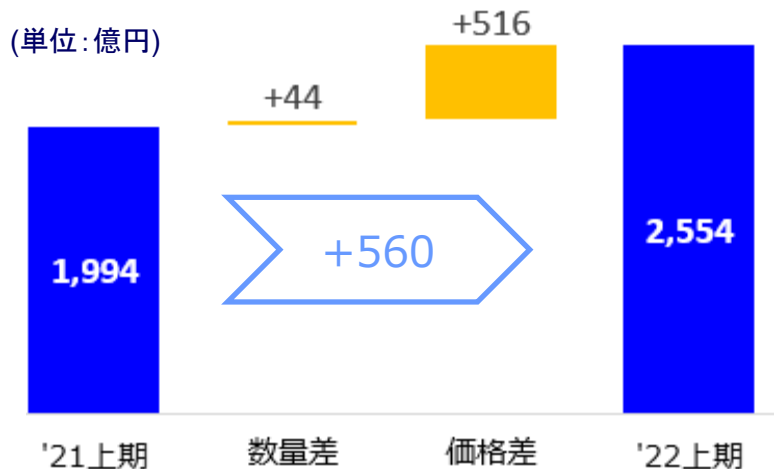
・ビジョンケア材料、農薬は販売堅調。

◆価格差 +77億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差。

モビリティ

(単位: 億円)

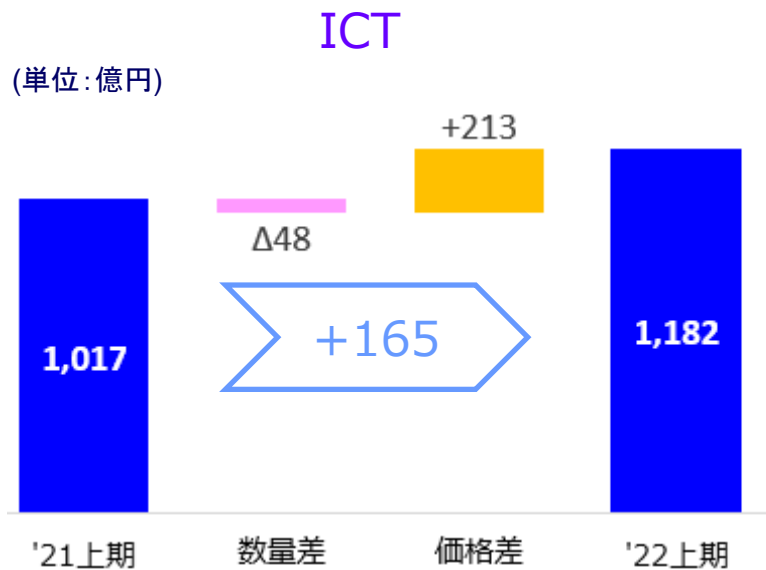


◆数量差 +44億円

◆価格差 +516億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差等。

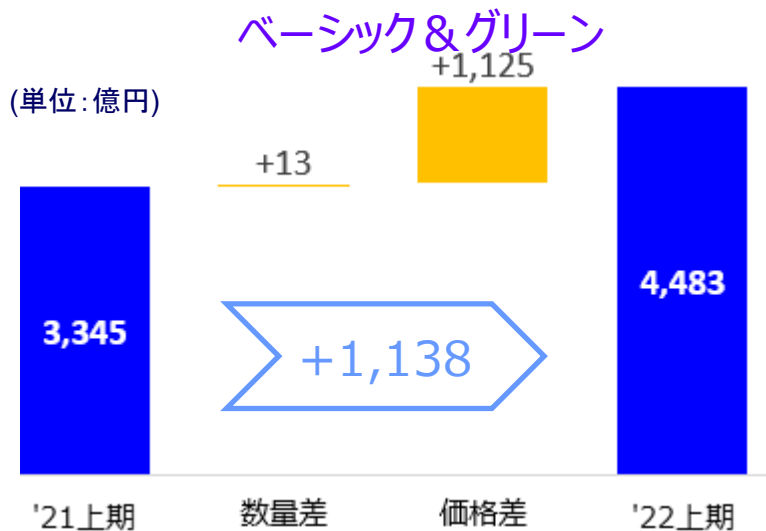
2-2) 売上収益の増減概要



◆数量差 △48億円

◆価格差 +213億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差。



◆数量差 +13億円

◆価格差 +1,125億円

・原料価格上昇による価格改定。

3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)



(単位：億円)

セグメント	売上収益					
	21年度				22年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	523	505	561	663	587	634
モビリティソリューション	1,009	985	1,120	1,213	1,206	1,348
ICTソリューション	506	511	536	518	592	590
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,633	1,712	1,971	2,055	2,343	2,140
その他の	35	16	28	27	33	38
合計	3,706	3,729	4,216	4,476	4,761	4,750

セグメント	コア営業利益					
	21年度				22年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	64	53	66	66	62	76
モビリティソリューション	96	67	77	92	95	139
ICTソリューション	92	75	85	50	92	58
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	270	226	179	103	208	65
その他の	△3	3	△7	△36	△11	△8
合計	519	424	400	275	446	330

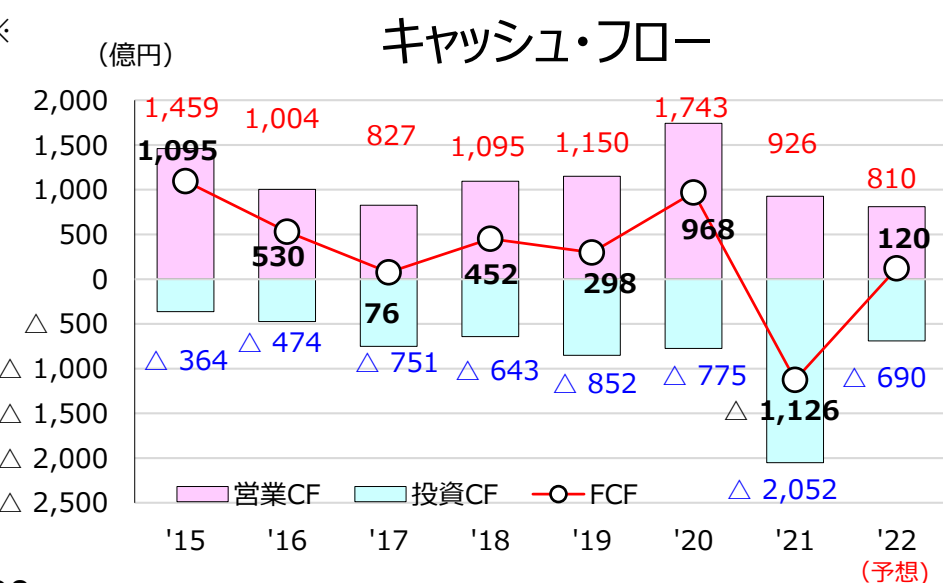
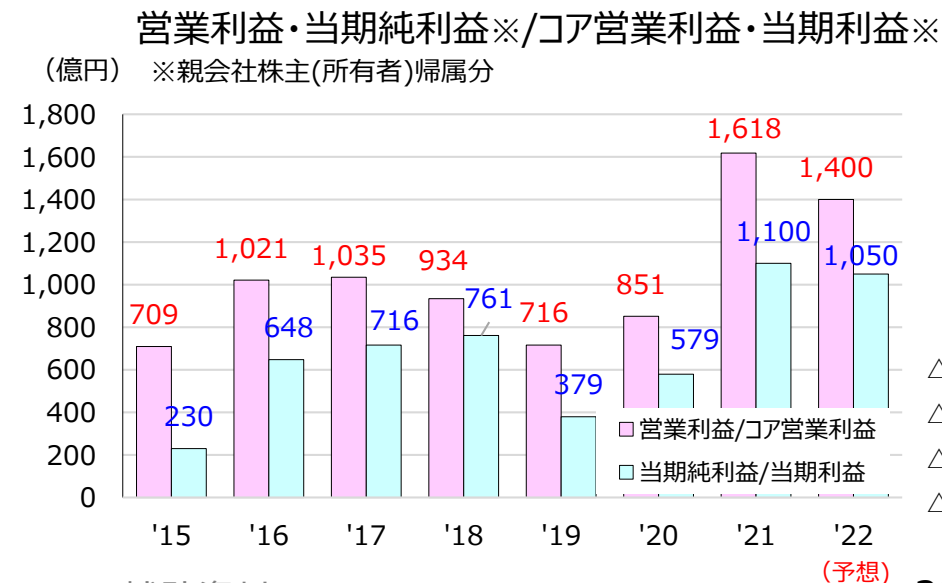
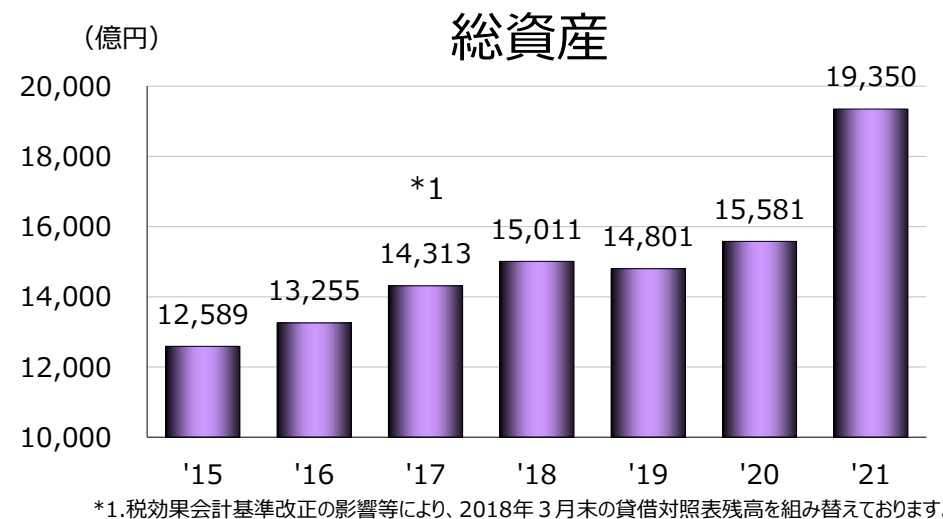
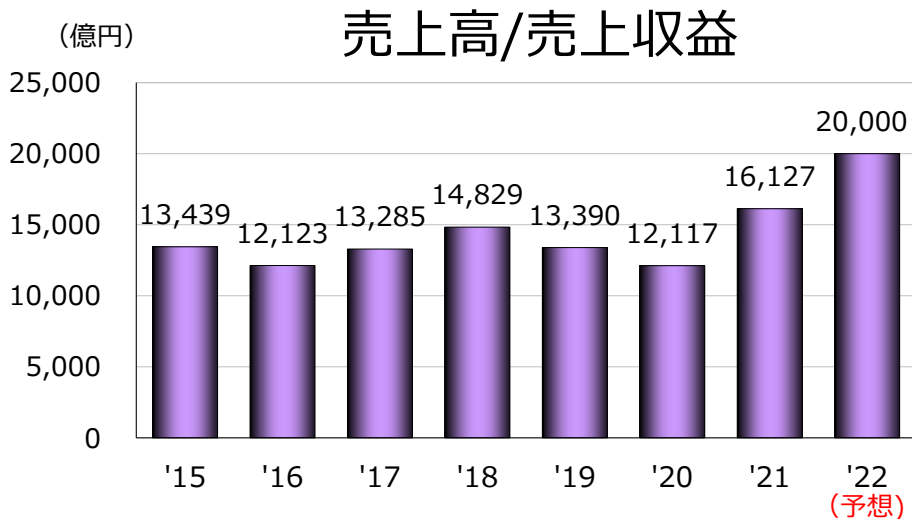
*21年度コア営業利益のセグメント組替につきましては5月13日の公表時からセグメントの修正を行っております。

4) セグメント情報

セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 メディカル材料（タウリン）、 不織布（シンテックス®、エアリア®、テクノロート®）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（ArF、KrF、EUV）、アペル®、TPX®、半導体用ガス 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ™、SP-PET™）、包装用フィルム（T.U.X®）
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業推進室	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

5-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

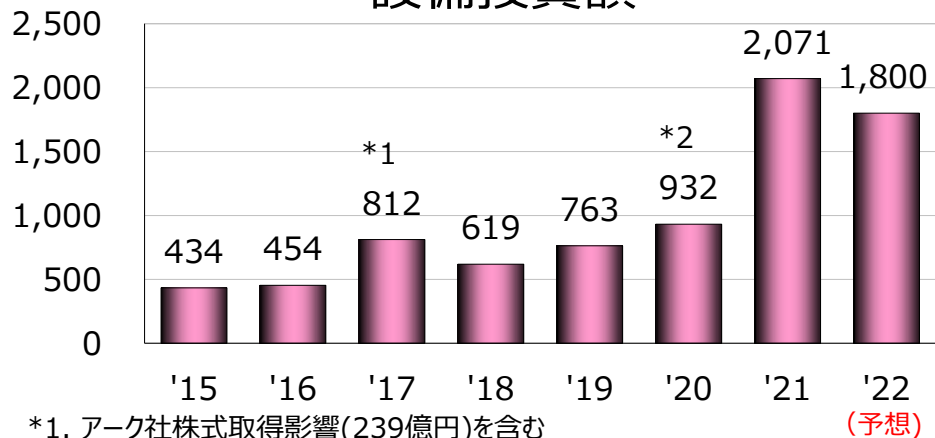


5-2) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

(億円)

設備投資額

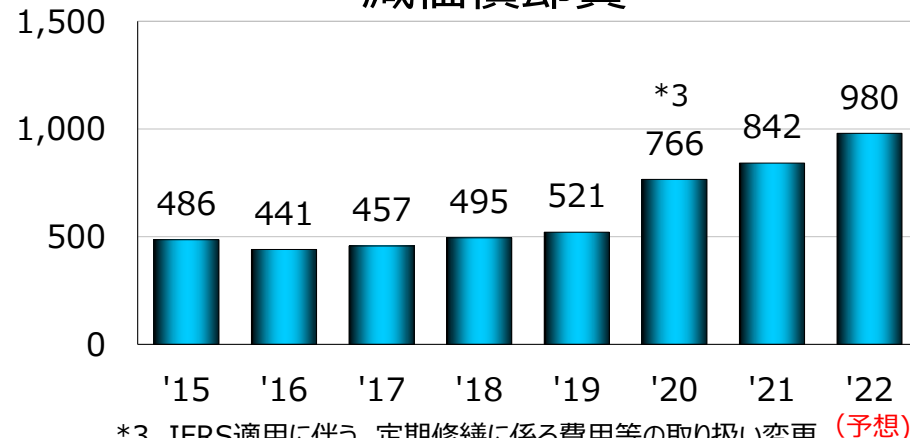


*1. アーク株式会社取得影響(239億円)を含む

*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む

(億円)

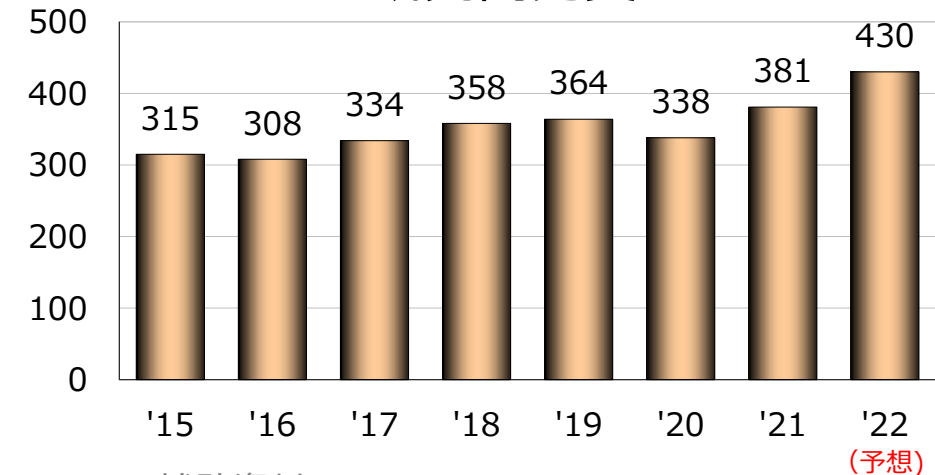
減価償却費



*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む

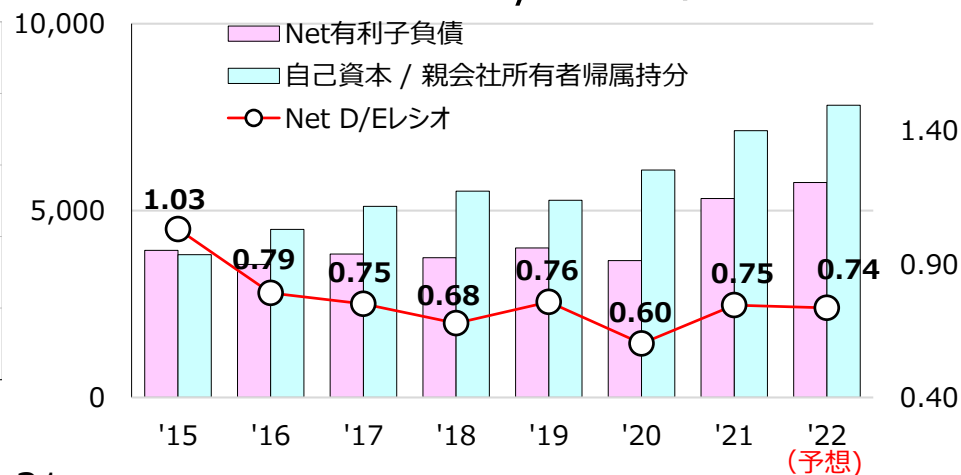
(億円)

研究開発費



(億円)

Net D/Eレシオ



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

Challenge Diversity One Team